



くも
雲は、なぜできるの

みず すいじょうき じょうはつ
水が水蒸気になって蒸発する

せん もの がかわくのは、せん もの すいぶん じょうはつ うみ かわ みずうみ じめん
洗たく物がかわくのは、洗たく物の水分が蒸発しているからです。海や川、湖、地面な
みず ところ じょうはつ みず じょうはつ きたい すいじょうき か
ど、水は、いろいろな所から蒸発しています。水は蒸発すると、気体の水蒸気になっ
ていきます。

くうきちゅう うみ じめん じょうはつ すいじょうき たいよう ねつ
空気中には、海や地面などから蒸発した水蒸気が、たくさんふくまれています。太陽の熱
あたた すいじょうき くうき ちよう そらたか あ
などにより、暖められた水蒸気をふくむ空気は、ぼう張して空高く上がっていきます。

すいじょうき みず こおり
水蒸気の水や氷のつぶになる

きおん じめん たか ひく そらたか あ すいじょうき ひ ちい
気温は、地面から高くなるほど、低くなります。空高く上がった水蒸気は、冷やされて小
みず こおり
さな水や氷のつぶになります。これらが、たくさんあつまってできているものが雲です。雲
ところ たか たか ひ おんど ひく
ができる所が高ければ高いほど、冷やされる温度が低くなるので、ほとんどが、小さな氷
は ひ み そら たか くも ちい こおり
のつぶになっています。晴れた日に見られる、空の高いところにある雲は、小さな氷のつ
ぶからできています。(監修・村山 貢司)

